

取手市の国民健康保険会計は大幅黒字

高すぎる国保税の「引き下げ」はできる!!

取手市の国民健康保険税は、藤井市長就任直後の値上げで、毎年大幅黒字を続け、積立金現在残高は10年間で44億円にもなりました。市議会は市長に対し「2021年度の積立て金16億円の早急な還元を」と要望を提出。市は2年で国保加入者に還元すると約束しました。

どうしてこんなにため込むのか?...

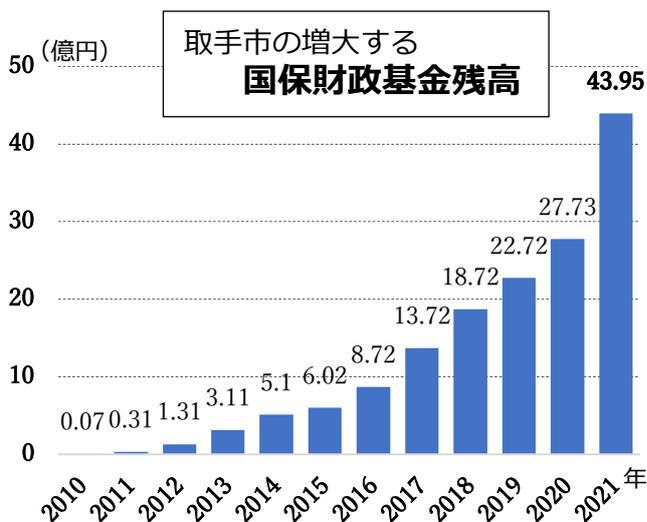
びっくり!!

44

億円

県内一の過大すぎる基金(ため込み金)

県内の国保税納入のしくみを統一するため、新年度から納入方式が変更されます。世帯ごとに納める「平等割」を廃止し、世帯の所得総額に応じた「所得割」と加入世帯の人数に応じて納入する「均等割」(子どもが多いほど負担が増える)の2方式になります。



毎年の大幅黒字の是正と

2021年度まで積立てた残りの27億円の国保基金活用で国保税の抜本的な引き下げ、18才以下の均等割の全額免除を求めます。(取手市では2018年から18才以下の均等割額が半額に減免されています)

国民健康保険の加入者は、43%が年金生活者などの無職、34%が非正規雇用の労働者で、自営業や農林水産業者などは23%。国保加入者の多くが低所得世帯です。

国民健康保険の保険税(料)は、4人世帯の場合、同じ年収のサラリーマンの健康保険料の約2倍になります。

取手市国保税は、払えない世帯が約1割の他、減免世帯が7割にも及び、国保世帯の8割が高すぎる国保税に深刻な影響を受けています。一方で、県内屈指の巨額の基金積み立て金44億円(国保会計の40%強)は極めて異常です。

署名にご協力ください。

3月取手市議会に提出します。

☆国保税の引き下げ、基金の公平な還元を求める請願署名

